

清々しい日が続いていましたが、少しずつ湿気の多い時間が増えてきたようです。

5月は、過ごしやすい気候の中で子どもたちはたっぷり自然と関わり、友だちとも関わり、「温もり」をしっかり伝えてきました。お散歩に行つてはお花を摘んだり、虫やカナヘビなどの小動物を捕まえたりし、それを持ち帰つては観察し、友だち同士で道中の思い出話に花が咲いていました。「えんちょうせんせい、おはなとってきた」「かえつたらままにあげる」「かえるつかまえきつた」と、自信満々で笑顔の子どもたちに、私の心も温まりました。

さて、6月の大きなめあては「笑顔」です。すっかりクラスに馴染んだ子どもたちが、仲間たちと笑顔で過ごせる楽しいあそびを、そして知的好奇心を満たせるような教育・保育活動を計画しています。天気は雨の日が多いかもしれませんが、はじける笑顔で過ごせる環境を提供していきたいと思います。

<6月の予定>

- 6月 4日(火) 歯科検診、特別想定訓練(風水害想定)
- 6月10日(月) 身体計測週間(～14日、すもも・かりん・れもんぐみ)
- 6月17日(月) 身体計測週間(～21日、いちご・あんず・きういぐみ)
- 6月18日(火) 避難訓練(地震想定)
- 6月25日(火) 誕生会、健康診断
- 6月29日(土) 保育参観(すもも・かりん・れもんぐみ)

聴力検査

5月15日～17日、聴力検査をしました。

すももぐみは、初めての検査で戸惑いが隠せない様子でした。保健師の「音が聞こえたらこのボタンを押してね」という指示に対して、音を鳴らした瞬間に「うん」と返事をしていました。何度かリハーサルをすると指示に従えるようになりましたが、コントをしているかのような様子でした。

<すももぐみ>

<かりんぐみ>



初めての検査でした



ドキドキして待っています



こちらは余裕そうです



「したことある」と言っていました

<れもんぐみ>



年長さんは待つ姿勢もきれいです



落ち着いて受検していました



検査機は、このような機器（オーディオメーター）を使用しました

避難訓練

5月20日、火災を想定した避難訓練を実施しました。

避難階段に手摺りを新たに設置してから初めての訓練でした。

子どもたちはとても安定して階段を降りることができ、誘導している保育教諭は安心感を覚えたようです。おかげで、とても安全に、そしてスムーズに避難を終えることができました。



第30回 日本保育保健学会 開催

キッドワールドセカンドこども園は、日本保育保健協議会の会員です。5月25日、26日の両日、その協議会が主催の第30回日本保育保健学会が開催されました。テーマは、「みなおそう！ こころとからだの健康 ～保育期から就学までの橋わたし～」でした。

日本保育保健協議会の主催する学会やセミナー、研修会は、講師のほとんどが小児科医で、次いで歯科医、栄養士、言語聴覚士などです。医療機関と保育施設を結ぶ唯一の団体ですので、とても貴重な情報を得ることができています。

今回の学会の内容を少し紹介します。

新型コロナウイルスが昨年5月に第5類となり、制限が次々と解除されていく中、予想どおり季節を問わない様々な感染症にかかる患者が年齢を問わず増えました。そこで有用なのが予防接種です。やはり、定期予防接種は欠かせませんが、例えば、おたふくかぜに効果のある任意の予防接種もお勧めします。ワクチンの接種は、重症化を防ぐものなので、特に重症化すると致死率の高い、または後遺症の残りやすい感染症は、予防接種をお勧めします。

また、乳幼児の食べる機能の発達について、我々大人は子どもの月齢によって離乳食の進み具合を考え、「今は月齢が9か月だから、離乳食も9か月頃の作り方が望ましい」と思いがちですが、実は歯の生え方によって離乳食を考えることが望ましいのです。歯の生え方も個人差があるので、食べ方が気になるときは歯の生えている状態を把握することが必要です。前歯が生えているのか、前歯が生えていればどのような食材だったら噛み切れるのか、奥歯が生えているのか、奥歯がまだ生えていなければ、どのような食材の状態であれば奥歯の生えてくる歯茎ですりつぶすることができるのか、といったように、様々な要因があって食べることが成り立ちます。この子は食べないから（食が細いから）といって、食べ物を口の中に無理やり入れると窒息の危険性も高まります。一番大切なことは、食べる時間を、食べることを楽しむことです。まずは、食事の時間を楽しみましょう。

以上、ここでは一部しか紹介できませんが、たくさんのことを学びました。たくさんのお園児に、たくさんのお職員に、この内容を還元していきたいと思えます。

